

国際同時通訳者の小熊さん

「英語即聴法」を伝授



全国で独自の「英語即聴法」を伝えている小熊さん

「日本人が英語を話せないのはなぜか？それは、語彙(ごい)力でも

文法力でもなく、ネイティブの早口英語の発音に触れていないから」と

国際同時通訳者の経験を生かした独自の「英語即聴法」を伝えている小熊さん(48)が3月20日、21日に大泉総合会館で教室を開く。

小熊さんは東京都中央区、これまでに各国の首脳やノーベル賞受賞者などの世界的著名人の同時通訳を経験し、2016年に通訳や翻訳の仲介サービスなどを手がける株式会社ブリッジインターナショナルを創業。

また、19年1月には、「1人でも多くの日本人が英語を話すことで、世

界に日本の思いやりの心が浸透し、世界平和につながるのではないかと」の思いから、「英語維新プロジェクト」を立ち上げ、全国各地で英語教室を開催。児童から高齢者までの約1200人が受講しているという。

小熊さんは、「ネイティブの英語は、隣り合う単語の音をつなげて発音したり、語尾を発音しなかつたりする。日本人はこの早口英語に聞きなれていないことが問題」と指摘し、動画教材を使って、誤った発音で覚えた英語の文章にネイティブの発音を上書きする勉強法を紹介する。

20日は、幼児と小学校低学年、小学校高学年、中学生の3クラスを開

き、21日は、高校生から一般、教員の2クラスを行う。各回の定員は100人で、参加無料。事前の申し込みは不要。

小熊さんは、「世界的な成功者が集う場所でも文法や発音などで間違い

のある「ブローケンイングリッシュ」が使われている。完璧な英語でないと話せないという日本人の思い込みを取り除きた」と話している。

この教室は、図書館を核にした地域活性化に取り組む住民ボランティア団体「本を愉しむいずみっ子サポート隊」が主催するもので、古郡恵子代表は、「英語を習得して未来を担う子供たちに世界へ羽ばたいてほしい」と思い企画した。英語に

親しみきつかけになればうれしい」と参加を呼びかけている。

問い合わせは☎080-4654-4672(古郡)まで。※新型コロナウイルスの影響で、中止する場合があります。